

日交研シリーズ A-653
平成 26 年度共同研究プロジェクト
道路空間の有効活用法に関する研究
刊行：2016 年 3 月

道路空間の有効活用法に関する研究

How to Use Road Space Effectively

主査：高田 邦道（日本大学名誉教授）

Kunimichi Takada

要 旨

車両の自動化や超小型車の出現から高齢者の電動車イスまで多種多様な車両の技術開発が進んでいる一方、道路は老朽化が進み、道路の新設が期待できない情勢にある。特に、都市部における道路の拡幅は難しい。そこで、道路の地下・上空を含めての活用、および沿道空間の有効活用による道路空間の負担軽減を検討し、道路平面上の利用空間を見出し、新たに出現する交通手段のための空間を見出せるかを検討し、今後の道路交通政策に寄与することを目的としている。

本報告は、平成 24 年度の『二輪車のバス専用通行帯通行に関する研究(日交研シリーズ A-581)』、平成 25 年度の『モータリゼーションの動向と道路空間の有効利用（日交研シリーズ A-616）』の続編であり、合わせて読んでいただきたい。なお、本書は、第 1 章「序論」、第 2 章「附置義務駐車スペースの減免と道路空間の創出」、第 3 章「アメリカの新たなレーン活用法」、第 4 章「デンヴァー市のトランジットモールの現状」、第 5 章「パリ市の道路空間の利用」、第 6 章「路側駐車排除に伴う路側車線の有効活用法」、第 7 章「道路の有効利用のための小型車専用立体交差導入の検討」、第 8 章「まとめ」、および付録資料で構成されている。

キーワード：道路空間の有効利用、車線、駐車スペース

Keywords： Effective Use of Road Space, Traffic Lane, Parking Space